

平成 27（2015）年群馬県産業連関表について

平成 27（2015）年群馬県産業連関表を作成しましたので公表します。

原則 5 年ごとに作成しており、今回は平成 23 年（2011）年を対象に作成しました（作成の基礎資料の一つである経済センサス-活動調査の実施年変更に伴い、今回は対象年の間隔が 4 年となっております）。今回の作成・公表は、平成 23 年に続き 6 回目となります

1 産業連関表とは（本編第 1 部第 1 章参照）

産業連関表は、県内の産業間の取引額を一覧化した統計表で、県内で生産された商品（財、サービス）の販売先と原材料等の購入元との関係（需給関係）を同時に把握することができ、経済波及効果の推計などに活用されています。

2 経済規模（本編第 1 部第 2 章参照）

- ・ 県内生産額は 17 兆 3,986 億円でした。
- ・ 生産額のうち、原材料等にかかる費用である「中間投入額」は 9 兆 1,337 億円（中間投入率 52.5%）、人件費や営業余剰等に当たる「粗付加価値額」は 8 兆 2,649 億円（粗付加価値率 47.5%）でした。
- ・ 県内で生産された商品の県外への販売額である「移輸出額」は 7 兆 7,467 億円（移輸出率 44.5%）でした。
- ・ 県外で生産された商品の県内需要者による購入額である「移輸入額」は 7 兆 5,764 億円（移輸入率 44.0%、自給率 56.0%）でした。

3 産業連関表からみた県経済の概況（本編第 2 部参照）

（1） 中間投入率（生産に対する原材料などの比率）：52.5%

本県の産業構造が輸送機械や業務用機械等の第 2 次産業に特化していることから、全国（46.1%）に比べ高くなっています。

（2） 労働分配率（粗付加価値に対する雇用者所得の比率）：49.3%

本県の産業構造が労働分配率の高い建設や電子部品、金属製品等の第 2 次産業に集中しているため、全国（48.5%）に比べ高くなっています。

（3） 移輸出超過

移輸入（海外や他県からの購入）より移輸出（海外や他県への販売）が多い移輸出超過となっています（全国は輸入超過）。なお、移輸出は輸送機械、飲食料品の 2 部門で全体の約 5 割を占めており、移輸入では輸送機械、飲食料品、商業で全体の約 3 割を占めています。